

### 1. ふるさとはどこだ？

自分の家のまわりのようすを発表させ、その「ふるさと」を地図でさがさせて感想を聞いてみた。

**みんなの家のまわりのようすはどんなかな。**

- C：木がたくさんあって、林になっています。
- C：川が流れています。
- C：家が少ないです。
- C：たまにサルやイノシシが通ったりします。

帝国書院『小学生の地図（最新版）』p.27～28

**地図帳の27ページを開けて、桃山を探そう。**

- C：あった。和歌山の和の上です。
- C：飯盛山がある。
- C：山が多いなあ。

### 2. 比べるまちはどこだ？

子どもたちに、桃山町と比べるまちを挙げさせてみた。比較的近くの京都や大阪、神戸とよく知っている都市の声が多かったが、東京も出てきた。そこで、東京と比べることにした。

**地図帳の36ページを開けて、みつけたことを言ってごらん。**

- C：渋谷がある。

C：池袋がある。

C：ディズニーランドがある。

C：ぼくディズニーランドに行ったことがある。

C：上野動物園がある。

C：タマちゃんの多摩川がある

### 3. 桃山と東京を比べてよう

まず、桃山（p.27～28）と東京（p.35～36）の地図を見比べて、感じたことを発表させた。

C：東京の方が家がいっぱいあります。

C：東京の方が店がいっぱいあります。

C：桃山の方が山が多い。

C：桃山の方が木がいっぱいあります。

C：東京の方が道がいっぱいあります。

C：東京の方が鉄道がいっぱいあります。

**東京へ行ったことのある人、そのときのことを話してくれるかな。**



### 4. 山地と平地を比べて

山間地にある本校と東京を地図帳を使って比べた。子どもたちは、うれしそうに東京のようすを想像して話し始めた。ディズニーランドへ行ったことのある子どもがいて、その経験を発表してもらった。憶えていることを精いっぱい発表する子どもたち。地図帳を見ていろいろと思い出したに違いない。「楽しかった」と複数の子が、授業終了後に言った。地図帳を使うことは、子どもの想像力を伸ばすことにもなる。